



## イギリス満喫(2)

(続き) ちなみに、高いところに登るのが好きな私は、セント・メアリー教会の塔と、カーファックス・タワーの両方に登ってみたが、街が一望できて素晴らしかった。

一方、カレッジがつどう街の中心部を離れると、豊かな緑が広がっているのもイイ感じである。街の中を流れるテムズ川には遊覧船も運行していて、試しに約40分程度のコースに乗ってみたが、天気がよかったこともあって、街中とは異なるのどかな風景の広がりが楽しめた。

ランチは散歩の途中でスコーンを、夕食は飲み物と総菜を買ってきて部屋食と、気ままに寮での2泊を過ごした。

\*

3日目も早起きをして、まずはテムズ川沿いを散歩。グレートホールでの朝食をゆっくり楽しんだ後にチェックアウトして、町外れのレンタカー屋さんへ。町外れとは言っても歩いて10分ほどである。そこで、レンタカーを借りて、一路、コッツウォルズ地方へ。

イギリスは日本と同じ右ハンドル・左側通行なので、普段クルマを運転している人間には(英語とはいえナビもあることだし)ほとんど違和感なくドライブすることができる。ただし、驚いたのは制限速度で、田舎道だと50マイル(時速約80キロ)となっていて、そんなに広くもない一般道を80キロで走るというのは、最初はかなりのプレッシャーだった。また、もう一つ慣れなければならないのに、「ラウンドアバウト」という、日本での交差点に相当するものがある(どういうものかはネット検索を)。小さなものなら何と

もないのだが、2車線ある大きなものだと、最初はちょっと戸惑うことになる。しかし、総じて運転マナーはよく、慣れてしまえばどうということはない。

コッツウォルズ地方は、イングランド中央部に広がる丘陵地帯で、オックスフォードから車で約1時間。黄色みを帯びた「蜂蜜色の石」(「ライムストーン」)と称される石灰岩を使った建物群が、緑の丘を背景に、古いイングランドの面影を伝える素晴らしい景観の地域である。小さな町や村が点在しており、クルマでそれぞれの町や村を巡りながら、まるで安野光雅さんが描く絵本の世界のような、美しく懐かしい田園風景が楽しめる。

「コッツウォルズ」で検索すると必ず出てくる、「一番美しいハチミツ色の村」チッピング・カムデンに2泊、「絵画のような村」カッスルカムに1泊、そして、「イングランドで一番美しい村」バイブリーに2泊しながら、ブロードウェイ、アッパー&ローアー・スローター、ボートン・オン・ザ・ウォーター、バーフォード、テッドベリーといった街々を巡ってきた。どの街も甲乙つけがたく素晴らしかったが、やはり宿泊した三つの街は、観光客がいなくなる朝・晩の落ち着いた姿を味わうことができたし、歩くことを楽しむために設けられたフットパスと呼ばれる小径のハイキングも体験できて印象深かった。

\*

…と、古き良きイギリスを満喫。花がより一層美しく咲き誇る季節(5~6月)に、ぜひ再訪したいと思っている。